



スクールワイドPBSの研究内容について

一般社団法人 UNIVA
理事 野口 晃 菜 氏

スクールワイドPBSは、学校全体で子供たちがQOL（Quality of Life：生活の質）の向上を目指した行動ができるよう、肯定的な方法で支援するための枠組みです。今年度、戸田市立喜沢小学校（2年目）と戸田市立戸田南小学校でのスクールワイドPBSの実践をサポートしました。

スクールワイドPBSでは、まず学校で全員が気持ちよく過ごすために大切にしたい「3つの大切」を決め、その「3つの大切」に基づいて場面ごとにどのような行動をしたらよいのか？を具体的に決めていきます。その行動ができるようになるための事前の工夫や、行動が起きた後にお互いにポジティブなフィードバックをし合う工夫などを実践していきます。例えば喜沢小学校では「廊下を歩く」という行動をするための工夫として、子供たちは道路で速度を抑制する3Dペイントを参考にし、廊下に3Dテープを貼るなどの工夫を考え実践していました。実際に廊下を歩けた人の数を数え、これらの工夫をすることでどれだけ歩けるようになったか？をグラフで示します。

今年度の研究については現在分析中のため、昨年度の研究結果について御報告します。スクールワイドPBSを導入する前と後で、教師の称賛行動の増加、「教師は児童を管理しなければならない」という教師の信念の減少がみられました。また、「教師の考え方が子供の多様性に対して寛容になってきているのを強く感じる」との感想がありました。学校の教職員誰もが過ごしやすい学校づくりを自分たちで主体的に実践し、子供も大人もお互いにポジティブに関わり合うスクールワイドPBSの導入により、インクルーシブ教育の土台になると感じました。

TODA Education Weeks

下記のような活動内容を基に、市内各小・中学校が主体的に校内研修を実施し、「令和の日本型学校教育」について熟議し、深い理解につなげている。

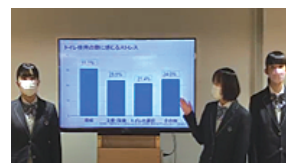
■期間 令和4年1月11日(火)～1月28日(金)

■対象 戸田市内全小・中学校

▼学校の校内研修の様子



▼金賞受賞校のプレゼン動画の様子



◀各大会が作成した動画の様子

I 令和3年度戸田市教育フェスティバルの講演を視聴

- 日時：令和4年1月11日(火) ●対象：戸田市立小・中学校教員
- 講師：荒瀬 克己 氏（独立行政法人教職員支援機構 理事長）
- 講演テーマ：「こどもを主語にする学校をつくるために」

II 令和3年度戸田市小・中学校プレゼンテーションの講演を視聴

- 対象：戸田市内の各小・中学校の代表児童生徒
 - 内容：授業内で取り組んだPBL等で、実行した解決策を基に「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」についてプレゼンテーションを行う。
- ※当日のプレゼンを動画にして配信し、各校で視聴する。

III 令和3年度戸田市立教育センター研究グループ作成動画の視聴

戸田市立教育センター教科等研究グループの各大会が1年間の研究の成果をまとめた動画を各校で視聴する。

